

名医の必策?! 最大の予防策は?!



症例

74歳・男性。1週間前から持続する発熱、咳嗽、呼吸苦が出現し救急搬送となった。両側肺野に浸潤影があり、重度の呼吸不全を認めたために人工呼吸器を装着し、ICU入室となった。後日、喀痰培養と血液培養からは肺炎球菌が検出され、この菌による重症肺炎の診断となる。ペニシリンでの治療が奏効し、ICU入室6日目に一般病床に転棟となる予定だったが「38.6℃の発熱・戦慄がある」と看護師より連絡があった。

1 ICU患者でよく起きる発熱の原因って?

救急外来や一般内科外来で発熱患者を診察し、鑑別疾患を考えるときには、病歴と身体所見をしっかりと確認したうえで、膠原病や悪性腫瘍なども鑑別に考えるが、ICU患者の発熱の原因の約半数は感染症が原因といわれている。

人工呼吸器関連肺炎、中心静脈カテーテルに伴う血流感染症、尿道カテーテルに伴う尿路感染症、経鼻チューブに伴う副鼻腔炎などの医療機器関連感染症や、皆さんがよく遭遇するクロストリジオイデス・ディフィシル腸炎、手術部位感染が重要となる。

感染症以外では薬剤熱、肺塞栓症、深部静脈血栓症、結晶性関節炎が有名だが、患者の背景によっては悪性症候群、輸血に伴う発熱、膵炎、無石性胆嚢炎、虚血性腸炎なども起きることがある¹⁾。

2 尿路感染症って具体的な感染臓器はどこ?

よく研修医と話をすると以下のようなプレゼンテーションを耳にすることがあります。

: 発熱、膿尿があり尿路感染症を考えます。

ICU : intensive care unit, 集中治療室